

■ 施設総量の現状（令和3年度）

施設総量の縮減目標／H21年度比

R14年度までに **3.26%** (5.22万㎡) 以上、R44年度までに **20%** (32万㎡) 以上縮減

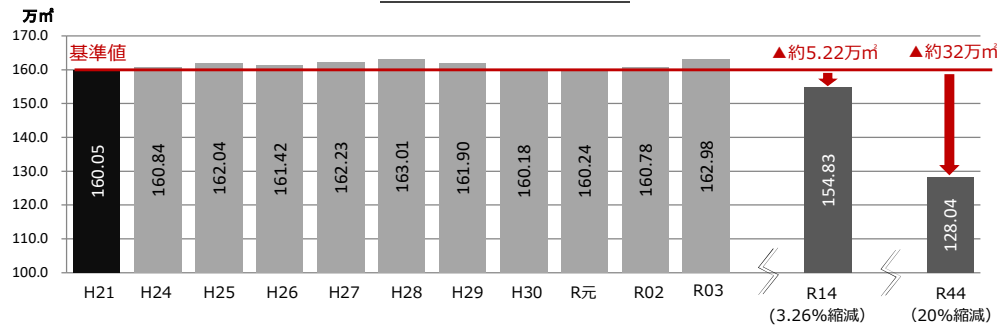
施設区分別の施設総量の推移

	H21	構成比	R3	構成比	R3-H21	増減率
学校施設	526,897.66	32.92%	556,664.31	34.16%	29,766.65	5.65%
社会教育関連施設	54,200.81	3.39%	49,909.47	3.06%	-4,291.34	▲7.92%
運動施設	25,750.80	1.61%	25,620.85	1.57%	-129.95	▲0.50%
文化施設	22,696.71	1.42%	22,718.02	1.39%	21.31	0.09%
保健・福祉施設	40,332.59	2.52%	40,640.95	2.49%	308.36	0.76%
児童施設	30,151.00	1.88%	43,013.53	2.64%	12,862.53	42.66%
市営住宅等	638,992.19	39.93%	610,299.33	37.45%	-28,692.86	▲4.49%
行政施設	82,065.14	5.13%	104,648.21	6.42%	22,583.07	27.52%
衛生施設	10,062.33	0.63%	10,168.18	0.62%	105.85	1.05%
公園施設	14,925.30	0.93%	14,472.93	0.89%	-452.37	▲3.03%
市民集会施設	16,031.11	1.00%	16,222.12	1.00%	191.01	1.19%
ごみ処理施設	52,637.86	3.29%	48,576.52	2.98%	-4,061.34	▲7.72%
医療施設	21,239.96	1.33%	21,545.52	1.32%	305.56	1.44%
その他施設	64,487.32	4.03%	65,262.06	4.00%	774.74	1.20%
総合計	1,600,470.78		1,629,762.00		29,291.22	1.83%

【現状】

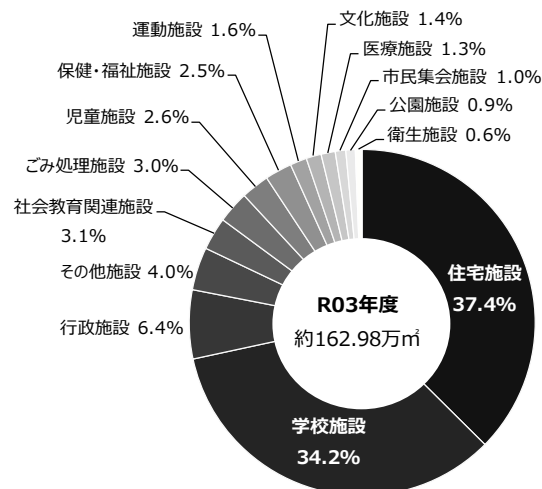
- ・令和3年度末の施設総量は約162.98万㎡
- ・平成21年度（約160.05万㎡）と比較すると、**約1.83%増（約2.93万㎡）**

延床面積の推移と目標値



延床区分別の構成比

- ・本市の建築系公共施設は施設数 645施設、延床面積約162.98万㎡（令和4年3月31日時点）
- ・住宅施設が37.4%、学校施設が34.2%を占めています。
- ・住宅施設が多くなっていますが、これは、阪神・淡路大震災により多くの震災復興住宅を整備したことが主な要因となっています。



【増加】

- ・「**学校施設**」は約**2.98万㎡**の増加で、施設区分別の増減率は5.65%
平成27年度の高木北小学校新設や、上甲子園小学校・南甲子園小学校、香櫨園小学校、春風小学校、西宮支援学校の改築など
（主な減少としては平成30年度の旧高須東小学校の解体約▲6,400㎡）
- ・「**行政施設**」は約**2.26万㎡**の増加で、施設区分別の増減率は27.52%
市役所西館や市役所前ビルのリース物件、鳴尾消防署の改築、瓦木消防署甲東分署、消防訓練施設の新設、防災備蓄倉庫（鯨池浄水場）の増のほか
令和3年度は第二庁舎（危機管理センター）の新設、西宮消防署の建替（既存庁舎の解体未）
（主な減少としては令和元年度の教育委員会庁舎の解体約▲2,300㎡）
- ・「**児童施設**」は約**1.29万㎡**の増加で、施設区分別の増減率は42.66%
平成27年度のこども未来センターや平成29年度の芦原むつみ保育所の新設、留守家庭児童育成センターの増設など

【減少】

- ・「**住宅施設**」は、第1次建替計画の対象団地の建替や解体が進んだほか、借り上げ災害公営住宅の返還により▲約2.87万㎡
- ・「**ごみ処理施設**」において、▲約4,000㎡（平成24年度の東部総合処理センターの改築）
- ・「**社会教育関連施設**」において、▲約4,300㎡
（平成29年度の総合教育センター、平成30年度の教育会館の解体、令和3年度の総合教育センターの一部転用（教育委員会庁舎神祇官分室）など）